

# 競技注意事項

2023 愛知選手権

1 本大会は2023年度日本陸上競技連盟競技規則および本大会要項によって実施する。

## 2 アスリートビブス（ナンバーカード）について

- (1)ユニホームの胸、背に確実につける。
- (2)走高跳、棒高跳は胸または背につけるだけでよい。
- (3)走幅跳、三段跳は胸だけでもよい。
- (4)トラック競技の800m以上の種目に出場する競技者には、写真判定用の「腰ナンバー標識」を配付する。ランニングパンツの右横や後方に、そのままの大きさと明確に数字が読めるようにつける。（100mから400mまでは腰ナンバー標識は付けない）
- (5)腰ナンバー標識はフィニッシュ後、係に返却する。

## 3 競技場への入退場について

- (1)競技者は、アスリートビブスを提示し、フィニッシュ地点付近の南ゲート、もしくは水濠後方付近の北ゲートから入退場する。
- (2)各団体監督あるいはマネージャー、保護者は2階南入口からスタンドに入る。選手・審判・補助員以外はグラウンドに立ち入ることはできない。

**スタンドからグラウンドに降りることは出来ない**

## 4 ウォーミングアップについて（入場は競技者のみです）

- (1)ウォーミングアップ場としてパロマ瑞穂レクリエーション広場を使用できる。  
使用時間は7時45分から最終種目の招集完了時刻まで使用できる。
- (2)投てき種目は、競技開始前に各ピットで競技役員の指示により行う。
- (3)北陸上競技場のトラックは、ウォーミングアップのために、大会の準備に支障のない範囲で、出場競技者に限り、8時00分から9時30分まで使用できる。  
※レーン使用区分は原則として次のとおりとする。  
1・2レーンは中・長距離、3～6レーンは短距離、7・8レーンはハードル  
※9時30分以降も競技の進行に支障がない範囲でバックストレートを使用できる。

**※地下駐車場、野球場の軒下での場所取り、ウォーミングアップは厳禁。**

## 5 招集について

- (1)招集所は、第3コーナー倉庫に設ける。競技者は招集完了の後、競技場所に移動する。
- (2)招集の受付は本人が行い、時間に遅れたものは棄権とみなして出場を認めない。
- (3)招集完了時刻は競技開始時刻を基準とし、下記のとおりとする。

	招集開始時刻	招集完了時刻
トラック競技	30分前	20分前
フィールド競技	50分前 ※棒高跳100分前	40分前 ※棒高跳 90分前

- (4)他の種目に出場しているなど特別の事由がある場合、代理人による招集を認めるので競技者係主任（招集所）に事前に申し出る。

## 6 レーン・試技順について

トラック競技のレーン及びフィールド競技の試技順は、プログラムの数字で示す。

## 7 競技について

### (1)トラック競技について

- ①すべて写真判定装置を使用する。
- ②本大会のスタート動作における競技規則については、国内ルールを適用する。
- ③レーンで行う競技においては、欠場者のレーンは空ける。
- ④短距離競走では、競技者の安全のため、フィニッシュライン通過後も割り当てられたレーン（曲走路）を走行して止まる。
- ⑤本大会の直線種目について、逆走は実施しない。

### (2)フィールド競技について

- ①フィールド競技における競技場内での練習は、すべて競技役員の指示に従う。
  - ②フィールド競技で、助走路に使用できるマーカーは主催者が用意したマーカーを2個まで置くことができる。また、サークルから行う投てき競技は、マーカーを1個だけ使用できる。
  - ③投てきの滑り止め（炭酸マグネシウム等）は個人のものであれば持参してください。
- (3)競技者は、勝手に競技場所を離れること、ビデオ装置・レコーダー・ラジオ・CD・MD・トランシーバーや携帯電話もしくは類似の機器を競技場内に持ち込むことは禁止する。  
(競技規則TR6-3)

## 8 走高跳・棒高跳のバーの上げ方（ただし、天候等の状況により変更することがある。）

	練習	1	2	3	4	5	6	
女子走高跳	1m45又は1m60	1m45	1m50	1m55	1m60	1m65	1m68	以後3cm
男子走高跳	1m80又は2m00	1m80	1m85	1m90	1m95	1m98	2m01	以後3cm
女子棒高跳	2m60又は3m00	2m60	2m80	3m00	3m10	3m20	3m30	以後10cm
男子棒高跳	4m10又は4m80	4m10	4m30	4m50	4m70	4m80	4m90	以後10cm

※練習はいずれかの希望する高さで行う。

※棒高跳は、競技場所で棒高跳支柱位置申請を口頭で行う。

○三段跳の踏切板は男子13m、女子10mで行う。

## 9 競技用器具について

競技に使用する器具は、すべて主催者が用意したものを使用する。  
ただし、棒高跳用ポールは、個人所有のものが使用できる。

## 10 競技用靴について（競技規則TR5.2 WA:C2.1参照）

スパイクピンの長さは9mm以内とする。ただし、走高跳・やり投は12mm以内とする。スパイクピンは先端近くで、少なくとも長さの半分は4mm四方の定規に適合するように作られていなければならない。なお、スパイクピンの数は11本以内とする。800m未満のトラック種目では、靴底の厚さが20mmを超えるシューズ、800m以上のトラック種目では25mmを超えるシューズは使用できない。

## 11 表彰について

- (1)各種目1～8位に賞状を授与する。
- (2)入賞者は成績発表後、1位のみ表彰式をグラウンドで行う。2位以下は団体受付の場所（正面外側）に賞状を取りに来ること。

## 12 東海選手権大会の申込について

この大会の**8位までの入賞者**に参加資格が与えられる。東海選手権への出場か欠場かを必ず東海大会受付まで報告する。

**出場を希望する競技者は16日（日）までに参加料（個人種目1種目2000円、リレー種目1チーム4000円）を添えて申込を完了すること。過日終了のリレー・長距離種目についても同様に申し込む。申込場所は北陸上競技場西側のスタジオ内にある。**

## 13 パロマ瑞穂北陸上競技場の使用について

- (1)開門前に早くから並ばないこと。自分の競技時間に合わせて来て下さい（**2時間前目安**）
- (2)清掃・ゴミ処理は、各団体、各自で責任をもって行い、環境美化に努める。

ゴミ問題は深刻な状況です。各自「ゴミの持ち帰り」をお願いします。競技場周辺のコンビニエンスストア・自動販売機・地下鉄の駅などにごみを捨てないでください。自宅への持ち帰りにご協力ください。

## 14 その他

- (1)本大会は記録速報（QRコード）を活用して競技会運営を行うので、氏名・所属等の間違い、**訂正があれば本部に申し出ること。**
- (2)競技場に商品名のついた衣類・バッグを持ち込む場合は、競技規則に準ずる。
- (3)貴重品類は、各自で保管する。万一の事故があっても、責任は負わない。盗難に注意すること。
- (4)応急処置を必要とする事故が生じたときは、**医務室において処置を受ける。なお、応急処置後の治療は、本人負担とする。**
- (5)記録証は、記録室へ500円(送料込み)を添えて申し込む。